

～人があつまる大井町駅前中央通りアイデアコンペ～

## 提案要旨説明書

### ■作品タイトル

導光

### ■提案要旨

私たちが初めて敷地を訪れた時は夜でした。

小さなお店がぼつぼつと、点在するだけで  
駅から見た大通りは、暗く寂しげな印象を受けました。

この場所に、駅からお店まで提灯のような灯りがともれば  
駅からの眺めが魅力的になり、もっとたくさんの方が訪れる町になると思いました。

そこで私たちは灯りを用いた提案をしました。

このプロジェクトを成功させる重要なことは、既存の街灯を消すことです。

導光は、主役の「お店」を引き立たせるための装置です。





町に手作りの照明を配置することで、お祭りのような賑やかな雰囲気を作ります。  
 光は駅から裏道の店まで連続し、人々を導くことでお祭りのような賑やかな雰囲気を作ります。  
 この光を導光「みちびくひかり」と呼びます。  
 導光が町に広がることで賑わいのある大井町に生まれ変わります。

PROCESS.2 光を配置

私たちが対象とした「店」の多く大通りより奥に位置します。  
 よって、道から奥の店舗に連続するように導光を配置し、人の流れを作ります。



PROCESS.3 光で導く

子どもたちが作った照明を建物の1階部分に設置し、駅からお店までの道のりを連続させます。  
 目の高さで輝く光がヒューマンスケールの夜景を演出し、駅からお店まで導きます。



活気がなく閑散とした通り。

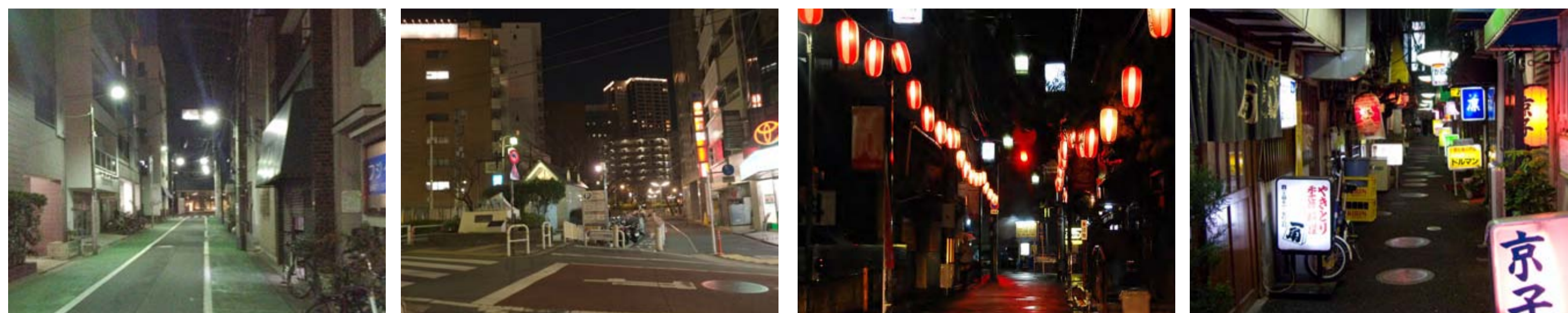
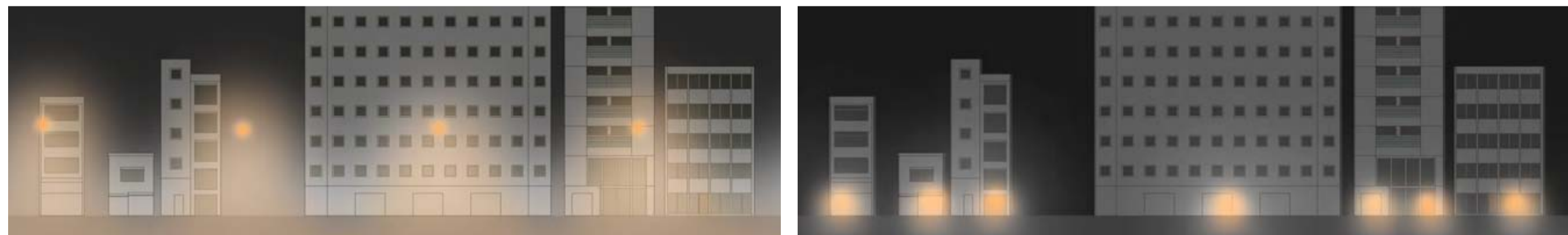


脇道まで導光することで町全体がお祭りのような空間へ。町の特徴となり、活気のある大井町になる。

PROCESS.0 光を消す

私たちがサーヴェイした結果、居酒屋やカフェなど夜、輝く店がたくさんあります。  
 しかし、必要以上に明るい街路灯がお店の光を目立たせなくしています。

まずは、これらのお店が引き立つように不要な街路灯を消します。



都市スケールの街灯。空間が均質に明るくなり、焦点が定まらない。

ヒューマンスケールで連続する光。お祭りのような期待感や高揚感を与える。

PROCESS.1 光を作る

街路灯が無くなり、町は暗くなりました。そこで、地元の特徴であるヒョウタンを使った照明を作ります。  
**近隣の学校でワークショップを行い製作します。**  
 照明の製作と設置を通じて**住民同士の繋がりや、町への関心が生まれます。**  
 また、子どもがデザインした照明は町の雰囲気を和ませ、愛着が生まれます。



小学校でワークショップを行う。



ヒョウタンを使った照明。



子どもたちが照明を製作することで、町への関心が高まる。